

4. 住み続けられるまちづくり

4-2 良質な生活基盤の充実

現状と課題

○良好な住環境は、人々の定住・移住を促す重要な要素で、まちづくりの基本となるものです。本町では今池団地跡地における宅地分譲や住宅新築当奨励金の支給、民間賃貸住宅の建設による住宅供給を進めてきましたが、人口の転出超過による人口減少が続いています。住まいの選択時に、本町を選んでもらえるような魅力ある住環境整備に取り組む必要があります。



〇〇住宅団地

- 空き家が継続的に増加しており、現在、空き家バンクによる流動化を進めていますが、防犯や景観などの視点からも、さらなる対策が必要です。
- 上下水道の普及率は着実に向上していますが、施設の延命化や更新事業の円滑化が期待されません。将来に渡り安心して利用できるよう、町民の理解を得ながら事業を進める必要があります。

施策の目標（10年後に目指す姿）

- 本町の特徴を生かした魅力ある住環境を提供することで、町内で移住する方や新たに本町に住む方へ選ばれる町となることを目指します。
- 増え続ける空き家については、利活用や維持管理の支援体制を整え、周知を図ります。
- 上下水道については、計画的に普及させるとともに、町民の理解を得て持続的な運営ができよう、透明性の高い運営をします。

施策の展開方針

- 住宅地整備については、豊かな自然環境でゆとりある暮らしができるなど、多様化するライフスタイルへの対応を想定したものとし、特色ある住環境を民間活力を活かし提供し、定住を促進します。また、遊休地や老朽化した町営住宅の取り壊し跡地などを活用しつつ、周辺環境と調和した住宅地を整備します。
- 空き家対策については、国の支援制度に基づいた総合的な対策を整備し、制度についてパンフレットやホームページなどで、分かりやすく紹介するとともに、借り手の関心を高められるような情報発信を進めます。また、地域と連携した空き家の見回り体制の整備、解体補助制度を実施します。
- 上下水道の持続可能な運営や災害時などへの安全安心に確保に向け、各事業に対する町民の理解が進むよう情報発信をして運営するとともに、老朽化した施設の定期的な更新、耐震化を計画的に進めます。

施策の展開

施策の内容	内容	重点 施策	実施 主体
小規模宅地等の 宅地造成整備	・民間活力を導入しつつ、若者定住を見据えた良好かつ魅力的な住宅の供給のため宅地造成整備に取り組みます。	●	町
老朽住宅の 早期取壊と跡地の 有効活用	・老朽化が著しい町営住宅4団地の取り壊しに伴う跡地の有効活用策を検討します。		町
民間賃貸住宅建設 補助	民間事業者等に対し賃貸住宅建設費用の一部を助成することにより、良質な賃貸住宅の建設を促進し、町民の住環境の向上と移住・定住人口の確保及び地域の経済活性化を図ります。		町
空き家バンク制度の 拡充	①増加傾向にある空き家を利活用して、定住促進や地域活性化を図るため、空き家バンク制度を実施している。 ②空き家の適正管理や利活用を望む声が多く、地域活性化につながる施策が求められている。 ③空き家バンク制度は定住を目的としているが、●●などを想定した定住以外の利活用研究を進めます。		町
上・下水道の一体的 維持管理の推進	・安全で安定した水道水の供給とともに、生活排水のリサイクルなど、下水道との一体的な維持管理を行うことで経費の削減に努めます。		町

町民との連携

○安全安心な上下水道の供給のため、水を作る為の費用や汚水を処理する為の費用は、利用しているもの負担するとう認識を持っていただけるよう情報発信をしていきたい。

目指す指標

指標	内容	R1	R11
新たな住宅地	・10年間に整備する新規住宅地の区画数	0区画	0区画
空き家バンクの登録数	・空き家バンクに登録された建物数	0件	0件